

鹿身協 福祉新聞

No.61



あけましておめでとうございます。

社会福祉法人 鹿児島市身体障害者福祉協会
理事長 財 部 工

皆様方には、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶びを申し上げます。

旧年中に賜りました皆様方のあたたかいご厚情に感謝申し上げ本年も引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、昨年10月に開催されました「特別全国障害者スポーツ大会」は、「燃ゆる感動かごしま大会」のスローガンにふさわしい素晴らしい大会が開催され、仲間たちの活躍にたくさんの元気をもらいました。

一方、身障協の行事も「一日レクリエーション」、「体育大会」と、それぞれに200人規模の参加をいただき皆様からたくさんの喜びの声を寄せていただきました。

今年は、当協会が運営する「継続支援B型事業所ゆうあいの郷天保山作業所」が開設10年の節目の年になります。

また、再来年は、身障協の創立70周年を迎えます。

長年の歴史に育まれ、歴史に裏打ちされた身障協であるために更なる研鑽を積み重ね身障協が障がい者の心の拠りどころとなるようにしっかり仕事をしますので皆様方の一層のご指導、ご協力をお願いいたします。

本年が、皆様にとって良き一年になりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



目 次



| | |
|--------------------------------|------------------------|
| 新年のごあいさつ（市身体障害者福祉協会理事長）..... 1 | シリーズ『障がいを越えて』..... 6~7 |
| 新年のごあいさつ（鹿児島市長）..... 2 | 1日レクリエーション..... 8~9 |
| 新年のごあいさつ（市社会福祉協議会会長）..... 3 | 市身体障害者体育大会..... 10~11 |
| 特別全国障害者スポーツ大会..... 4 | 年賀状・新会員紹介..... 12 |
| 鹿児島市チャレンジド大賞受賞..... 5 | |



新年のごあいさつ

鹿児島市長 下 鶴 隆 央

令和6年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

鹿児島市身体障害者福祉協会の皆様におかれましては、かねてより、障害のある方々の自立と社会参加のため、様々な取組を積極的に展開され、福祉の増進にご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。

さて、近年、障害のある方々を取り巻く環境は大きく変化してきており、国においては、多様化するニーズにきめ細かく対応するため、地域における生活の維持をはじめとして、様々な法制度が整備されてきております。

また、去年は、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」が開催され、ひたむきに競技に打ち込む選手の姿に大きな勇気と感動をいただきました。まさに『コロナ禍からの再生と飛躍』を象徴する大会として、皆様の心に残る、素晴らしい大会となり、国民の障害に対する理解が一層深まったものと考えております。

本市におきましては、ポスト・コロナを見据えた各種取組により、人もまちも活気を取り戻しつつある中、時代の変化を的確に捉えながら各施策をさらに推進し、持続可能で、人もまちも躍動する鹿児島市を実現してまいりたいと考えております。

今後も、障害の有無にかかわらず、すべての人が相互に人格と個性を尊重し支え合う地域共生社会の実現に向け、障害者の自立及び社会参加の支援に取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、新しい年が未来への夢と希望の持てる素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



もっと快適な明日のために

義肢・装具・座位保持・整形靴製造販売

介護保険福祉用具貸与・販売・住宅改修

福祉用具・介護用品販売、メンテナンス

株式会社 中礼義肢製作所

| | | |
|-------|--|-----------------|
| 本社 | 〒892-0846 鹿児島市加治屋町11-3 | ☎ 099-225-0888 |
| 始良工場 | 〒899-5652 始良市平松3738-1 | ☎ 0995-65-7761 |
| 大島出張所 | 〒894-0027 奄美市名瀬末広町18-13 メイスイブル奄美501 | ☎ 080-8565-4888 |



新年のごあいさつ

社会福祉法人 鹿児島市社会福祉協議会
会長 上之園 彰

明けましておめでとうございます。

鹿児島市身体障害者福祉協会会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、去年は、ウクライナに続き中東でも紛争が起こり、引き続き物価高騰が世界中の人々の生活に大きな影響を与えています。

しかし、国内では、新型コロナの5類移行後、消費や観光に明るい光が見え、51年ぶりに鹿児島で開催された国体と全国障害者スポーツ大会は、鹿児島にたくさんの明るい話題を提供してくれました。

貴協会におかれましては、永年にわたり、財部理事長をはじめ歴代の役職員の方々や会員の皆様が、時勢に応じた活動を着々と積み重ねられ、障害者の自立と社会参加の推進に大きな貢献をされてこられましたことに、深く敬意を表します。

私ども市社協では、「みんながつながり・支え合う 生きがいあふれる福祉のまち かごしま」を目指し、様々な事業を展開し、障害者の生きがいや健康の増進の場として、ゆうあい館の運営も行ってまいりますので、皆様のご利用をお待ちしております。

年頭にあたり、貴協会の益々のご発展と会員並びにご家族の皆様の健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

医療法人 恵徳会
 **小田代病院** Phone 099-253-8111
〔診療時間〕9:00~13:00 14:00~18:00
(機能強化型在宅療養支援病院)

患者様が住み慣れたご自宅や地域で
安心して暮らしていただけるよう
「訪問診療・訪問リハビリ」を
行っております。

〒890-0054 鹿児島市荒田一丁目25番6号
(サンエールかごしま前)



特別国民体育大会 (2023年10月7日～10月17日) 特別全国障害者スポーツ大会 (10月28日～30日)



新型コロナウイルス感染症の影響により、3年延期された特別国民体育大会と特別全国障害者スポーツ大会(10月28日～30日)が開催されました。

2023年8月26日に鹿児島市炬火リレーが実施され、鹿児島市身体障害者福祉協会・鹿児島市視覚障害者協会・鹿児島市聴覚障害者協会・鹿児島市精神障害者家族会連絡協議会、鹿児島市手をつなぐ育成会の5団体でみなと大通りの400メートルを担いました。

ご寄附をいただきました。

令和5年8月29日鹿児島市原良町にお住いの佐野憲一様より多額のご寄附をいただきました。
佐野様は、令和3年9月に亡くなられたの奥様「眞知子」様の「障がい者の皆様の役に立ちたい。」とのお気持ちを届けたいと寄附の申し出をしてくださいました。

早すぎる奥様のご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りし、ご主人様のご健康とご多幸をお祈りして、お礼を申し上げます。



第16回 鹿児島市身体障害者作品展のお知らせ



身体障がい者が障がい乗り越えて制作した作品を展示販売して身体障がい者の社会参加の意欲を高めようとするものです。

日時：令和6年2月4日(日)
9:30～15:00

場所：ゆうあい館 体育館

障がい者の方の手作りの作品を展示販売いたします。
手芸品・絵画・木工品なんでも構いません。
皆様からの出店をお待ちしています。



出店希望の方は 令和6年1月10日(水)までに事務局へお申込み下さい。



《事務局連絡先》 TEL 253-9771 FAX 253-1426

★楽しいアトラクションや抽選会も準備します。

皆様お誘い合わせの上ご来場ください。

※ インフルエンザ等の感染拡大の状況によっては、計画を変更したり、急遽中止する場合がございますので、ご了承願います。

締切間近!

「令和5年度 かがしま市チャレンジド大賞 (社会貢献部門)」表彰を受賞されました。



12月6日鹿児島市役所で「令和5年度かがしま市チャレンジド大賞」の表彰式が行われました

当協会から、中央・南支部長の唐仁原紀代子さんが、社会貢献部門の表彰を受けられました。おめでとうございます。

唐仁原紀代子さんは、平成27年から就労継続支援B型事業所「ゆうあいの郷」で利用者として働きながら、ゆうあい館の三味線・民謡講座に参加されたり身体障害者協会の理事や、鹿児島市身体障害者相談員など積極的に社会貢献をされています。

81歳になられた今でも前向きに活躍されるお姿は、多くの障がい者の手本であります。



のんびり・ゆったり・快適バスの旅 《新型コロナウイルス感染対策にも取り組んでおります》



貸切バス・団体旅行のご用命は・・・

 **南国交通観光株式会社**
販売促進課

〒899-0841 鹿児島市照国町12-15

TEL 099-239-6877

FAX 099-222-3790

シリーズ『障がいを超えて』

②4 谷山支部 稲盛 睦子

障がい者の仲間が集まれば、百人百様、それぞれが宿命的な障がいに立ち向い人生をたくましく生きています。障がいを乗り越えた方や、いまだ奮闘中の友もその想いを文章に託して伝えてみませんか。それは私達障がい者にとって、おおいなる人生のゴールになるにちがいありません。

障がいと共に

私は八人姉妹の末っ子として喜入の地で誕生。
両親、姉妹の愛情をいっぱい受けて育ちました。

1歳の時、小児麻痺になり親は何とか直してやりたい一心で苦しい家計をやりくりして大学病院に入院させてくれましたが数ヶ月間の治療の甲斐もなく両足に障害が残りました。物心ついた頃、父の作ってくれた竹の松葉杖で歩いていました。好奇心旺盛な私は人のする事は何でもやりたがり両親は反対もせず見守り助けてくれました。五年生まで近くの小学校に通い、六年生からは親元を離れ高校卒業まで養護学校で学んだのですが、寮生活では「甘えるな、自分の事は自分でする事」と指導され掃除、洗濯等身の回りの事は自分でやった事で、自然と自立心が身についたように思います。



就職するまでが大変で面接を受けても断られ、先生方のご尽力で卒業間近かにやっと病院に決まり、医療事務や受付等、十三年務めました。障害者を初めて受け入れスタッフも不安だったと思いますが、特別扱いせず出来る事は何でもやらせてもらいました。

障害をなげいたり、いじめを受けた事はなかったのですが、職場での昇給の時に他の人の半分だった時など「あー、私が障害者だからかなー」と、ちょっと辛かった時もありました。

三十一歳で縁あって結婚。一男一女の子宝に恵まれ、障害を持った夫婦二人三脚で子育てです。時には両親、姉妹に応援をしてもらったり、家主さんからも力を貸していただきました。また、長女が生まれてからは長男も色々手伝ってくれました。

二人の子どもは皆さんに育てて頂いたようなもので感謝しかありません。



これからも、地域とともに。

山形屋
ホーム
ページ



山形屋

〒892-8601 鹿児島市金生町3番1号
電話(099)227-6111
www.yamakata.co.jp